

地域活性化伝道師プロフィール

分野	地域産業・イノベーション・農商工連携		農・林・水産業	○			
	地域医療・福祉・介護、教育		観光・交流	○			
	地域コミュニティ・集落再生	○	環境	◎			
	地域交通・情報通信		まちづくり	◎			
ふりがな	うえの ひろふみ						
氏名	上野 浩文						
所属	名称	一般社団法人コミュニケーションデザイン機構					
所属	役職	代表理事					
連絡	住所 (職場)	〒530-0001 大阪市北区梅田1-11-4-1100					
	連絡先	e-mail	ueno[アットマーク]cdioffice.jp				
		TEL 06-6131-7380	FAX 06-6131-6199				
連絡方法	E-Mailでお願いします						
略歴	<ul style="list-style-type: none"> ●令和6年6月～財団法人千里リサイクルプラザ専務理事 ●平成22年度～令和5年3月 環境省直轄中間支援機能にて事業統括責任者 ●平成15年度～平成21年度 国土交通省にて 流域連携拠点のプロモーション・運営 ●昭和63年度～平成14年度 企画広報会社にて、クリエイティブディレクター アートディレクターを担当 ●大阪芸術大学デザイン学部グラフィックデザイン学部卒業 						
著作・論文等	<p>京都大学学芸出版会「環境ガバナンス論(編著:松下和夫氏)」内 第3部 第8章 流域ガバナンスを支える社会関係資本への投資に掲載 (研究者:大野智彦氏)</p>						
取組概要	<p>環境・社会・経済が統合的に向上する持続可能な社会の形成を目指し、持続可能な開発のための教育(英文名 Education for Sustainable Development: ESD)の理念に基づく コミュニケーションを通じて、地域社会を構成する多様な主体間をつなぎ、地域環境課題解決を促す仕組みづくりを行い、持続可能な社会の創造と公益に寄与することを目的とし、その目的に資するため、次の事業を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 持続可能な社会の担い手育成事業 2. 持続可能な社会づくりに関係する自治体、NPO等、各主体をつなぐ事業 3. 地域環境課題の解決を目的とした住民協働による社会基盤整備事業 4. 持続可能な社会づくりを推進する主体等を支援(助言・情報提供)する事業 5. 持続可能な社会につながる学術、文化、芸術またはスポーツの振興をはかる事業 						

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

	6. その他、前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
メッセージ	<p>環境省が推進する地域循環共生圏構築や地域発の循環型社会・自然共生・環境教育のプロジェクト推進において、地域パートナーシップ事業などの中間支援経験を活かし、地域内の多様な主体間協働・共創パートナーシップづくりや持続可能な社会づくりを促進するためのプラットフォームづくりを支援します。</p> <p><3つの強み></p> <p>①豊富な環境省プロジェクト実績と中間支援</p> <p>環境省事業にて多岐にわたる事業実績があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境省地方環境パートナーシップ推進事業 ・持続可能な社会づくりを担う事業型環境 NPO 支援 ・地域活性化に向けた協働取組加速化事業支援 ・SDGs 達成の担い手育成(ESD)推進事業 ・地域循環共生圏づくりプラットフォームの構築支援 ・資源循環促進支援事業 自治体 CE 診断支援 ・地域熱中症予防啓発ネットワークづくり事業 など <p>②様々な主体(行政、市民、教育現場)の協働を促すコミュニケーションデザイン「地域循環共生圏」など の地域間プラットフォーム構築の取り組みにおいて、多様な主体の自発的行動を促すインキュベーター的な支援力を発揮しています</p> <p>③持続可能な社会の担い手育成および地域連携推進に向けたプランづくり&実証環境アクションプラン(自治体)や環境公益財団法人運営計画にて、人材育成事業(持続可能な社会の担い手育成)、自治体やゼブラ企業、学校、NPO など多様な主体間連携促進、住民協働による社会基盤整備などに配慮したプランの見直しや実証を行っています。</p>
関連ホームページ	https://cdioffice.jp/
活動エリア	近畿圏、首都圏、北海道、宮古島

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。